

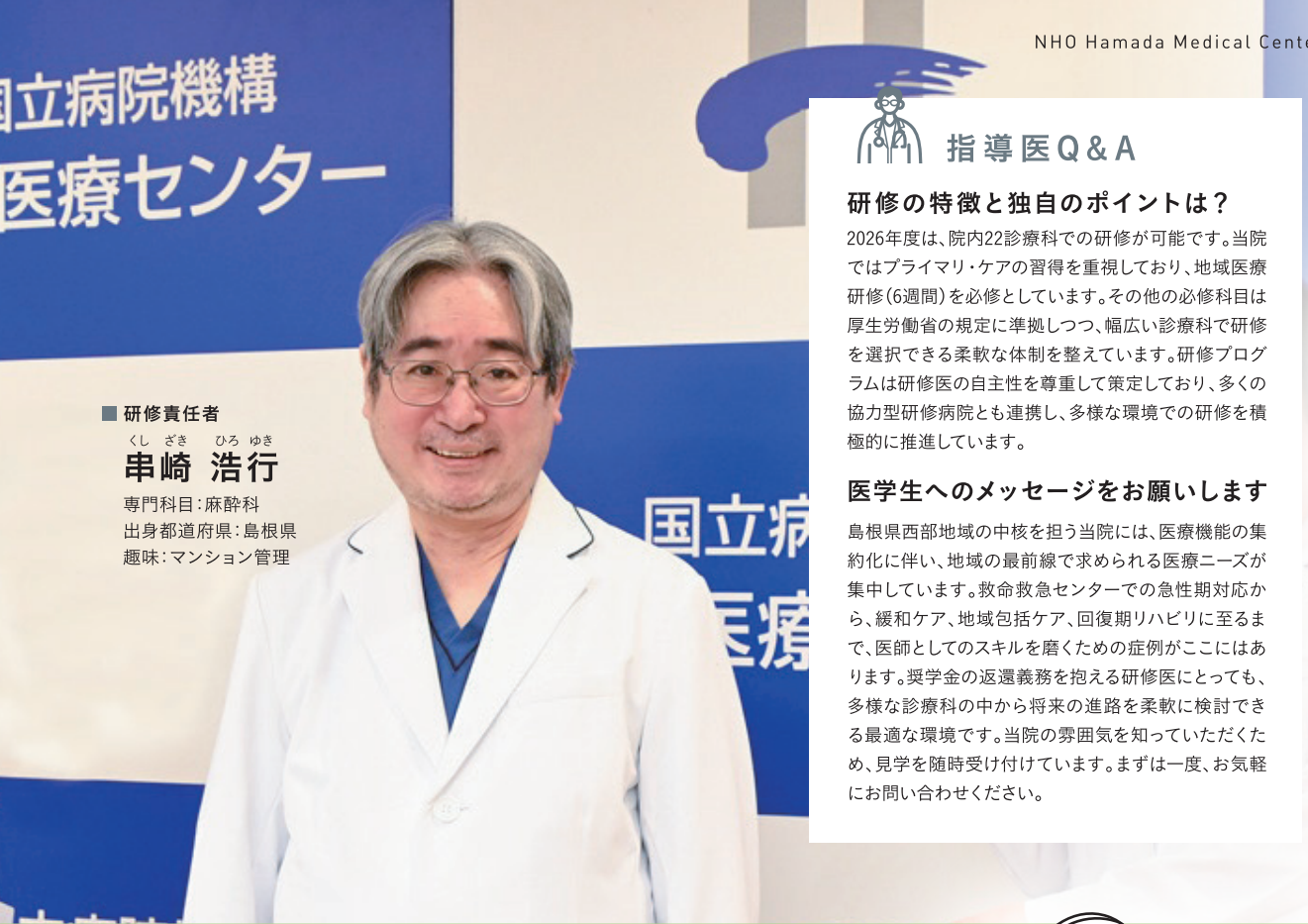
CASE 07 独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター

当院は島根県西部に位置し、県西部地区では唯一の救命救急センター(三次)を備えています



■ 臨床研修医 2年次
わたなべ しろう た
渡部 翔太
出身大学: 島根大学
出身都道府県: 島根県
趣味: スポーツ観戦

■ 研修責任者
くし ざき ひろ ゆき
串崎 浩行
専門科目: 麻酔科
出身都道府県: 島根県
趣味: マンション管理



指導医 Q & A

研修の特徴と独自のポイントは？

2026年度は、院内22診療科での研修が可能です。当院ではプライマリ・ケアの習得を重視しており、地域医療研修(6週間)を必修としています。その他の必修科目は厚生労働省の規定に準拠しつつ、幅広い診療科で研修を選択できる柔軟な体制を整えています。研修プログラムは研修医の自主性を尊重して策定しており、多くの協力型研修病院とも連携し、多様な環境での研修を積極的に推進しています。

医学生へのメッセージをお願いします

島根県西部地域の中核を担う当院には、医療機能の集約化に伴い、地域の最前線で求められる医療ニーズが集中しています。救命救急センターでの急性期対応から、緩和ケア、地域包括ケア、回復期リハビリに至るまで、医師としてのスキルを磨くための症例がここにはあります。奨学金の返還義務を抱える研修医にとっても、多様な診療科の中から将来の進路を柔軟に検討できる最適な環境です。当院の雰囲気を知っていただくため、見学を随時受け付けています。まずは一度、お気軽にお問い合わせください。



研修医へINTERVIEW

—— 研修先をこの病院に決めた理由と経緯を教えてください

渡部 実際に見学に来た際、研修医の先生方がいきいきと働いておられる姿を見て、「ここで成長したい」と思い、決めました。

—— この病院の臨床研修の良いところを教えてください

渡部 診療科が充実しており幅広い疾患を経験できることに加え、上級医の先生方は丁寧に指導してくださいます。スタッフ同士のコミュニケーションが取りやすく病院全体の雰囲気も良いため、働きやすい環境です。

—— 医学生へのメッセージをお願いします

渡部 ぜひ一度病院見学に来てみてください。実際の診療現場の雰囲気や研修医の働き方を間近で感じることができ、イメージがより具体的にになります。



HOSPITAL DATA

🏠 病床数 …… **347** 床

🏥 診療科目数 …… **27** 科

👨 常勤医師数 …… **72** 名

👨 指導医数 …… **31** 名

👨 臨床研修医数 **13** 名
1年次 …… 6名
2年次 …… 7名

外来患者数 …… 459.4 名/日

入院患者数 …… 263.8 名/日

救急外来患者数 …… 11.9 名/日

救急車搬入患者数 …… 8.7 名/日

診療科

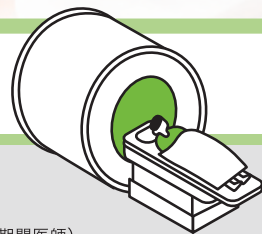
内科(総合診療科)、内分泌・代謝内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科、救急科

臨床研修協力施設

島根大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、山口大学医学部附属病院、広島大学病院、益田赤十字病院、松江赤十字病院、独立行政法人国立病院機構東京医療センター、独立行政法人国立病院機構京都医療センター、社会医療法人清和会西川病院、島根県済生会江津総合病院、公立邑智病院、雲南市立病院、独立行政法人国立病院機構災害医療センター、浜田保健所、浜田市国保診療所連合体(弥栄、波佐、あさひ)

院内勉強会

研修医対象セミナー(月4回)、早期研修医勉強会(月2回)、CPC(年3回)など



募集要項

- ・採用人数: 7名
- ・身分: 臨床研修医(期間医師)
- ・試験実施日: 2026年8月(予定)
- ・試験内容: 面接

病院処遇

- ・基本給(月): 1年次382,000円、2年次412,000円
- ・賭手当: 超過勤務手当、通勤手当など
- ・休日・休暇: 土日、祝日、年末年始の休日
- ・当直回数(月): 無(代わりに週1回程度17:15~22:00又は休日午前、午後の救急当番あり(超過勤務手当支給))
- ・臨床研修への支援: 学会発表時旅費・参加費支給
- ・臨床研修医の時間外労働の上限時間: A水準
- ・宿日直許可: なし(勤務扱い)

月額給与モデル

支給総額 …… 478,000円
基本給 …… 382,000円
超過勤務手当 …… 96,000円

※1年目。
※救急当番(17:15~22:00)4回。
※あくまでもモデルであり、実際の支給総額は個人の状況により異なります。